

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant: Izumi HARADA
Title: SETTLEMENT METHOD IN DEAL
OF GOODS OR SERVICE
Appl. No.: Unassigned
Filing Date: 05/08/2001
Examiner: Unassigned
Art Unit: Unassigned



CLAIM FOR CONVENTION PRIORITY

Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

The benefit of the filing date of the following prior foreign application filed in the following foreign country is hereby requested, and the right of priority provided in 35 U.S.C. § 119 is hereby claimed.

In support of this claim, filed herewith is a certified copy of said original foreign application:

- Japan Patent Application No. 2000-136217 filed 05/09/2000.

Respectfully submitted,

Date May 8, 2001

FOLEY & LARDNER
Washington Harbour
3000 K Street, N.W., Suite 500
Washington, D.C. 20007-5109
Telephone: (202) 672-5407
Facsimile: (202) 672-5399

By

A handwritten signature in dark ink, appearing to read "David A. Blumenthal".

LYLE KIMMS
REG. No. 34079

David A. Blumenthal
Attorney for Applicant
Registration No. 26,257

Izumi HARADA
70639/135

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

JC986 U.S. PTO
09/850134
05/08/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application: 2000年 5月 9日

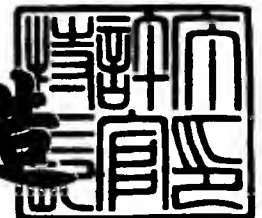
出 願 番 号
Application Number: 特願2000-136217

出 願 人
Applicant(s): 日本電気株式会社

2001年 2月23日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3011497

【書類名】 特許願

【整理番号】 04500003

【提出日】 平成12年 5月 9日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04M 11/00

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

 【氏名】 原田 泉

【特許出願人】

 【識別番号】 000004237

 【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100065385

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 山下 穰平

 【電話番号】 03-3431-1831

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 010700

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【包括委任状番号】 9001713

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 商品又は役務の取引における決済方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 携帯端末が購買者を識別するための購買者識別情報を記憶するステップと、

販売者が販売し購買者が購買する商品又は役務の取引についての取引情報と前記販売者を識別するための販売者識別情報を用意するステップと、

前記取引情報と前記販売者識別情報を前記携帯端末が読み込むステップと、

前記購買者の認証情報を前記携帯端末が読み込むステップと、

前記携帯端末が前記販売者識別情報と前記購買者識別情報と前記取引情報と前記認証情報を決済コンピュータに送信するステップと、

前記決済コンピュータが前記購買者識別情報と前記認証情報により購買者認証をするステップと、

前記購買者認証が成功したときに、前記決済コンピュータが前記販売者識別情報と前記購買者識別情報と前記取引情報を利用して決済をするステップと、

を有することを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、

前記携帯端末が前記販売者識別情報と前記購買者識別情報と前記取引情報と前記認証情報を決済コンピュータに送信するステップの前に、

前記携帯端末が前記取引情報を表示するステップと、

前記携帯端末が送信可否信号を入力するステップと、

を更に有し、前記送信可否信号が肯定的であるときにのみ、前記携帯端末が前記販売者識別情報と前記購買者識別情報と前記取引情報と前記認証情報を決済コンピュータに送信することを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 3】 請求項 2 に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、前記携帯端末が前記取引情報を表示するステップで、前記携帯端末は前記販売者識別情報も表示することを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 4】 請求項 2 又は 3 に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、前記決済コンピュータが前記販売者識別情報と販売者付帯情報を対応付けて前もって記憶するステップと、

前記携帯端末が、読み込んだ前記販売者識別情報を前記決済コンピュータに送信するステップと、

前記決済コンピュータが送信されてきた前記販売者識別情報に対応する前記販売者付帯情報を前記携帯端末に送信するステップと、

を更に有し、前記携帯端末が前記取引情報を表示するステップで、前記携帯端末は前記販売者付帯情報も表示することを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 5】 請求項 2 又は 3 に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、

前記取引情報と前記販売者識別情報を用意するステップで、更に販売者付帯情報を用意し、

前記取引情報と前記販売者識別情報を前記携帯端末が読み込むステップで、前記携帯端末は前記販売者付帯情報も読み込み、

前記携帯端末が前記取引情報を表示するステップで、前記携帯端末は前記販売者付帯情報も表示することを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 6】 請求項 2 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、前記携帯端末が、表示した情報を記憶するステップを更に有することを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 7】 請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、

前記取引情報と前記販売者識別情報を用意するステップで、前記取引情報の代わりに取引情報を用意し、

前記取引情報と前記販売者識別情報を前記携帯端末が読み込むステップで、前記取引情報の代わりに基礎情報を読み込み、

前記基礎情報を基に前記取引情報を前記携帯端末が生成するステップを更に有することを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 8】 請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、

前記取引情報と前記販売者識別情報を用意するステップで、前記取引情報の代わりに基礎情報を用意し、

前記取引情報と前記販売者識別情報を前記携帯端末が読み込むステップで、前記取引情報の代わりに基礎情報を読み込み、

前記基礎情報を前記携帯端末が取引情報生成装置に送信するステップと、

前記取引情報生成装置が前記基礎情報を基に生成した取引情報を前記携帯端末が受信するステップと、

を更に有することを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 9】 請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、前記決済コンピュータが決済を完了した後に、前記決済コンピュータが決済完了情報を前記販売者識別情報により示される前記販売者の装置に送信するステップを更に有することを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 10】 請求項 9 に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、前記決済コンピュータが前記決済完了情報を前記装置に送信する際に更に前記取引情報を前記装置に送信することを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 11】 請求項 9 又は 10 に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、前記決済コンピュータが前記決済完了情報を前記装置に送信する際に更に前記購買者識別情報を前記装置に送信することを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 12】 請求項 9 乃至 11 のいずれか 1 項に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、

前記決済コンピュータが前記購買者識別情報と購買者付帯情報を対応付けて前もって記憶するステップを更に有し、

前記決済コンピュータが前記決済完了情報を前記装置に送信する際に更に前記購買者付帯情報を前記装置に送信することを特徴とする商品又は役務の取引にお

ける決済方法。

【請求項 1 3】 請求項 1 0 に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、前記装置は受信した前記決済完了情報と前記取引情報に基づき所定の動作をすることを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 1 4】 請求項 9 乃至 1 3 のいずれか 1 項に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、前記装置が、受信した情報を表示又は印刷するステップを更に有することを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 1 5】 請求項 9 乃至 1 4 のいずれか 1 項に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、前記装置が、受信した情報を記憶するステップを更に有することを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 1 6】 請求項 1 乃至 1 5 のいずれか 1 項に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、前記決済コンピュータが決済を完了した後に、前記決済コンピュータが決済完了情報を前記携帯端末に送信するステップを更に有することを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 1 7】 請求項 1 6 に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、前記決済コンピュータが前記決済完了情報を前記携帯端末に送信する際に更に前記取引情報を前記携帯端末に送信することを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 1 8】 請求項 1 6 又は 1 7 に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、前記決済コンピュータが前記決済完了情報を前記携帯端末に送信する際に更に前記販売者識別情報も送信することを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 1 9】 請求項 1 6 乃至 1 8 のいずれか 1 項に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、

前記決済コンピュータが前記販売者識別情報と販売者付帯情報を対応付けて前もって記憶するステップを更に有し、

前記決済コンピュータは前記購買者識別情報、前記取引情報及び前記認証情報と共に送信されてきた前記販売者識別情報に対応する前記販売者付帯情報も前記決済完了情報を前記携帯端末に送信する際に送信することを特徴とする商品又は

役務の取引における決済方法。

【請求項 20】 請求項 16 乃至 18 のいずれか 1 項に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、

前記取引情報と前記販売者識別情報を用意するステップで、更に販売者付帯情報を用意し、

前記取引情報と前記販売者識別情報を前記携帯端末が読み込むステップで、前記携帯端末は前記販売者付帯情報も読み込み、

前記携帯端末が前記販売者識別情報と前記購買者識別情報と前記取引情報と前記認証情報を決済コンピュータに送信するステップで、前記携帯端末は前記販売者付帯情報も送信し、

前記決済コンピュータは、前記決済完了情報を前記携帯端末に送信する際に前記販売者付帯情報も送信することを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 21】 請求項 16 又は 20 に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、前記携帯端末が、受信した情報を表示するステップを更に有することを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 22】 請求項 16 乃至 21 のいずれか 1 項に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、前記携帯端末が、受信した情報を記憶するステップを更に有することを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 23】 請求項 1 乃至 22 のいずれか 1 項に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、前記購買者識別情報は電話番号又は e-mail アドレスであることを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 24】 請求項 1 乃至 23 のいずれか 1 項に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、前記取引情報は、前記商品又は役務の金額を少なくとも示すことを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 25】 請求項 24 に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、前記取引情報は、前記取引の識別情報も示すことを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 26】 請求項 24 又は 25 に記載の商品又は役務の取引における

決済方法において、前記取引情報は、前記商品又は役務の名称も示すことを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 2 7】 請求項 2 4 乃至 2 6 のいずれか 1 項に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、前記取引情報は、前記商品又は役務の識別情報も示すことを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 2 8】 請求項 1 乃至 2 7 のいずれか 1 項に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、取引情報と販売者識別情報は、光学的形態、電氣的形態、磁氣的形態又は電波形態により示されることを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 2 9】 請求項 1 乃至 2 7 のいずれか 1 項に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、前記取引情報と前記販売者識別情報は、1 次元又は 2 次元のバーコードにより示されることを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 3 0】 請求項 5 に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、前記販売者付帯情報は、光学的形態、電氣的形態、磁氣的形態又は電波形態により示されることを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 3 1】 請求項 5 に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、前記販売者付帯情報は、1 次元又は 2 次元のバーコードにより示されることを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 3 2】 請求項 1 乃至 3 1 のいずれか 1 項に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、前記認証情報は暗証番号、音声、指紋情報又は眼球情報であることを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 3 3】 請求項 1 乃至 3 2 のいずれか 1 項に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、前記購買者付帯情報は、購買者の氏名、住所、電話番号、年齢及び性別の少なくとも 1 つであることを特徴とする商品又は役務の取引における決済方法。

【請求項 3 4】 請求項 4、5、1 9 又は 2 0 に記載の商品又は役務の取引における決済方法において、前記販売者付帯情報は、前記販売者の名称、住所及び電話番号の少なくとも 1 つであることを特徴とする商品又は役務の取引におけ

る決済方法。

【請求項 3 5】 購買者を識別するための購買者識別情報を記憶する手段と

販売者が販売し前記購買者が購買する商品又は役務の取引についての取引情報と前記販売者を識別するための販売者識別情報を読み込む手段と、

前記購買者の認証情報を読み込む手段と、

前記販売者識別情報と前記購買者識別情報と前記取引情報と前記認証情報を決済コンピュータに送信する手段と、

を備えることを特徴とする携帯端末。

【請求項 3 6】 請求項 3 5 に記載の携帯端末において、前記決済コンピュータから決済完了情報を受信する手段を更に備えることを特徴とする携帯端末。

【請求項 3 7】 携帯端末より販売者を識別するための販売者識別情報と購買者を識別するための購買者識別情報と前記販売者が販売し前記購買者が購買する商品又は役務の取引についての取引情報と前記購買者の認証情報を受信する手段と、

前記購買者識別情報と前記認証情報により購買者認証をする手段と、

前記購買者認証が成功したときに、前記販売者識別情報と前記購買者識別情報と前記取引情報を利用して決済をする手段と、

を備えることを特徴とする決済コンピュータ。

【請求項 3 8】 請求項 3 7 に記載の決済コンピュータにおいて、前記決済が完了した後に、決済完了情報を前記販売者情報により示される前記販売者の装置に送信する第 1 の送信手段を更に備えることを特徴とする決済コンピュータ。

【請求項 3 9】 請求項 3 8 に記載の決済コンピュータにおいて前記第 1 の送信手段は、前記取引情報も前記装置に送信することを特徴とする決済コンピュータ。

【請求項 4 0】 請求項 3 8 又は 3 9 に記載の決済コンピュータにおいて、前記第 1 の送信手段は、前記購買者識別情報も前記装置に送信することを特徴とする決済コンピュータ。

【請求項 4 1】 請求項 3 8 乃至 4 0 のいずれか 1 項に記載の決済コンピュ

ータにおいて、

前記購買者識別情報と購買者付帯情報を対応付けて前もって記憶する手段を更に備え、

前記第 1 の送信手段は、前記購買者識別情報に対応する前記購買者付帯情報も前記装置に送信することを特徴とする決済コンピュータ。

【請求項 4 2】 請求項 3 7 乃至 4 1 のいずれか 1 項に記載の決済コンピュータにおいて、前記決済が完了した後に、決済完了情報を前記携帯端末に送信する第 2 の送信手段を更に備えることを特徴とする決済コンピュータ。

【請求項 4 3】 請求項 4 2 に記載の決済コンピュータにおいて、前記第 2 の送信手段は、前記取引情報も前記携帯端末に送信することを特徴とする決済コンピュータ。

【請求項 4 4】 請求項 4 2 又は 4 3 に記載の決済コンピュータにおいて、前記第 2 の送信手段は、前記販売者識別情報も送信することを特徴とする決済コンピュータ。

【請求項 4 5】 請求項 4 2 乃至 4 4 のいずれか 1 項に記載の決済コンピュータにおいて、

前記販売者識別情報と販売者付帯情報を対応付けて前もって記憶する手段を更に備え、

前記第 2 の送信手段は、前記販売者識別情報に対応する前記販売者付帯情報も前記携帯端末に送信することを特徴とする決済コンピュータ。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、電子機器を用いた商品又は役務の取引における決済方法に関し、特に携帯端末と決済コンピュータを用いた商品又は役務の取引における決済方法に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来、商品又は役務の販売においては、決済は現金又はクレジットカード等に

より行われていた。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、決済を現金で行うと、購買者は現金を持ち歩かなければならず、現金を紛失し、それを他人に使われるおそれがあった。クレジットカードの場合も同様であり、クレジットカードを紛失したとき、紛失届を出さない限り、それを他人に使われるおそれがあった。

【 0 0 0 4 】

また、クレジットカードを使用する場合、クレジットカードの情報が販売者に盗まれて悪用されるおそれがあった。

【 0 0 0 5 】

更に、現金やクレジットカードで決済を行った場合、購買者は自分の購買記録を確認したり集計したりするためには、自分の購買記録を自ら帳簿したり、クレジットカード会社から購買記録を取り寄せなければならなかった。

【 0 0 0 6 】

更に、現金やクレジットカードで決済を行った場合、その決済を行うための者を取引所に配属しなければならなかった。

【 0 0 0 7 】

更に、スーパーマーケット等で現金又はクレジットカードにて決済を行うためには、レジで店員による購買品の金額の集計をしなければならず、購買者はレジの列で待たされることとなっていた。

【 0 0 0 8 】

本発明は、現金やクレジットカードを所持しなくても、携帯電話を携帯していれば様々な取引局面で商品や役務の購買の決済をすることを可能とし、現金やクレジットカード等による決済の上記の問題を発生させない商品又は役務の取引における決済方法を提供することを目的とする。

【 0 0 0 9 】

【課題を解決するための手段】

本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、携帯端末が購買者を識

別するための購買者識別情報を記憶するステップと、販売者が販売し購買者が購買する商品又は役務の取引についての取引情報と前記販売者を識別するための販売者識別情報を用意するステップと、前記取引情報と前記販売者識別情報を前記携帯端末が読み込むステップと、前記購買者の認証情報を前記携帯端末が読み込むステップと、前記携帯端末が前記販売者識別情報と前記購買者識別情報と前記取引情報と前記認証情報を決済コンピュータに送信するステップと、前記決済コンピュータが前記購買者識別情報と前記認証情報により購買者認証をするステップと、前記購買者認証が成功したときに、前記決済コンピュータが前記販売者識別情報と前記購買者識別情報と前記取引情報を利用して決済をするステップと、を有することを特徴とする。

【 0 0 1 0 】

また、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記携帯端末が前記販売者識別情報と前記購買者識別情報と前記取引情報と前記認証情報を決済コンピュータに送信するステップの前に、前記携帯端末が前記取引情報を表示するステップと、前記携帯端末が送信可否信号を入力するステップと、を更に有し、前記送信可否信号が肯定的であるときにのみ、前記携帯端末が前記販売者識別情報と前記購買者識別情報と前記取引情報と前記認証情報を決済コンピュータに送信することを特徴とする。

【 0 0 1 1 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記携帯端末が前記取引情報を表示するステップで、前記携帯端末は前記販売者識別情報も表示することを特徴とする。

【 0 0 1 2 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記決済コンピュータが前記販売者識別情報と販売者付帯情報を対応付けて前もって記憶するステップと、前記携帯端末が、読み込んだ前記販売者識別情報を前記決済コンピュータに送信するステップと、前記決済コンピュータが送信されてきた前記販売者識別情報に対応する前記

販売者付帯情報を前記携帯端末に送信するステップと、を更に有し、前記携帯端末が前記取引情報を表示するステップで、前記携帯端末は前記販売者付帯情報も表示することを特徴とする。

【 0 0 1 3 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記取引情報と前記販売者識別情報を用意するステップで、更に販売者付帯情報を用意し、前記取引情報と前記販売者識別情報を前記携帯端末が読み込むステップで、前記携帯端末は前記販売者付帯情報も読み込み、前記携帯端末が前記取引情報を表示するステップで、前記携帯端末は前記販売者付帯情報も表示することを特徴とする。

【 0 0 1 4 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記携帯端末が、表示した情報を記憶するステップを更に有することを特徴とする。

【 0 0 1 5 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記取引情報と前記販売者識別情報を用意するステップで、前記取引情報の代わりに基礎情報を用意し、前記取引情報と前記販売者識別情報を前記携帯端末が読み込むステップで、前記取引情報の代わりに基礎情報を読み込み、前記基礎情報を基に前記取引情報を前記携帯端末が生成するステップを更に有することを特徴とする。

【 0 0 1 6 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記取引情報と前記販売者識別情報を用意するステップで、前記取引情報の代わりに基礎情報を用意し、前記取引情報と前記販売者識別情報を前記携帯端末が読み込むステップで、前記取引情報の代わりに基礎情報を読み込み、前記基礎情報を前記携帯端末が取引情報生成装置に送信するステップと、前記取引情報生成装置が前記基礎情報を基に生成した取引情報を前記携帯端末が受信するステップと、を更に有することを特徴とする。

【 0 0 1 7 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記決済コンピュータが決済を完了した後に、前記決済コンピュータが決済完了情報を前記販売者識別情報により示される前記販売者の装置に送信するステップを更に有することを特徴とする。

【 0 0 1 8 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記決済コンピュータが前記決済完了情報を前記装置に送信する際に更に前記取引情報を前記装置に送信することを特徴とする。

【 0 0 1 9 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記決済コンピュータが前記決済完了情報を前記装置に送信する際に更に前記購買者識別情報を前記装置に送信することを特徴とする。

【 0 0 2 0 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記決済コンピュータが前記購買者識別情報と購買者付帯情報を対応付けて前もって記憶するステップを更に有し、前記決済コンピュータが前記決済完了情報を前記装置に送信する際に更に前記購買者付帯情報を前記装置に送信することを特徴とする。

【 0 0 2 1 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記装置は受信した前記決済完了情報と前記取引情報に基づき所定の動作をすることを特徴とする。

【 0 0 2 2 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記装置が、受信した情報を表示又は印刷するステップを更に有することを特徴とする。

【 0 0 2 3 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記装置が、受信した情報を記憶するステップを更に有することを特徴とする。

【 0 0 2 4 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記決済コンピュータが決済を完了した後に、前記決済コンピュータが決済完了情報を前記携帯端末に送信するステップを更に有することを特徴とする。

【 0 0 2 5 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記決済コンピュータが前記決済完了情報を前記携帯端末に送信する際に更に前記取引情報を前記携帯端末に送信することを特徴とする。

【 0 0 2 6 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記決済コンピュータが前記決済完了情報を前記携帯端末に送信する際に更に前記販売者識別情報も送信することを特徴とする。

【 0 0 2 7 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記決済コンピュータが前記販売者識別情報と販売者付帯情報を対応付けて前もって記憶するステップを更に有し、前記決済コンピュータは前記購買者識別情報、前記取引情報及び前記認証情報と共に送信されてきた前記販売者識別情報に対応する前記販売者付帯情報も前記決済完了情報を前記携帯端末に送信する際に送信することを特徴とする。

【 0 0 2 8 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記取引情報と前記販売者識別情報を用

意するステップで、更に販売者付帯情報を用意し、前記取引情報と前記販売者識別情報を前記携帯端末が読み込むステップで、前記携帯端末は前記販売者付帯情報も読み込み、前記携帯端末が前記販売者識別情報と前記購買者識別情報と前記取引情報と前記認証情報を決済コンピュータに送信するステップで、前記携帯端末は前記販売者付帯情報も送信し、前記決済コンピュータは、前記決済完了情報を前記携帯端末に送信する際に前記販売者付帯情報も送信することを特徴とする。

【 0 0 2 9 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記携帯端末が、受信した情報を表示するステップを更に有することを特徴とする。

【 0 0 3 0 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記携帯端末が、受信した情報を記憶するステップを更に有することを特徴とする。

【 0 0 3 1 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記購買者識別情報は電話番号又は e - m a i l アドレスであることを特徴とする。

【 0 0 3 2 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記取引情報は、前記商品又は役務の金額を少なくとも示すことを特徴とする。

【 0 0 3 3 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記取引情報は、前記取引の識別情報も示すことを特徴とする。

【 0 0 3 4 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は

役務の取引における決済方法において、前記取引情報は、前記商品又は役務の名称も示すことを特徴とする。

【 0 0 3 5 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記取引情報は、前記商品又は役務の識別情報も示すことを特徴とする。

【 0 0 3 6 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、取引情報と販売者識別情報は、光学的形態、電氣的形態、磁氣的形態又は電波形態により示されることを特徴とする。

【 0 0 3 7 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記取引情報と前記販売者識別情報は、1次元又は2次元のバーコードにより示されることを特徴とする。

【 0 0 3 8 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記販売者付帯情報は、光学的形態、電氣的形態、磁氣的形態又は電波形態により示されることを特徴とする。

【 0 0 3 9 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記販売者付帯情報は、1次元又は2次元のバーコードにより示されることを特徴とする。

【 0 0 4 0 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記認証情報は暗証番号、音声、指紋情報又は眼球情報であることを特徴とする。

【 0 0 4 1 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記購買者付帯情報は、購買者の氏名、

住所、電話番号、年齢及び性別の少なくとも1つであることを特徴とする。

【 0 0 4 2 】

更に、本発明による商品又は役務の取引における決済方法は、上記の商品又は役務の取引における決済方法において、前記販売者付帯情報は、前記販売者の名称、住所及び電話番号の少なくとも1つであることを特徴とする。

【 0 0 4 3 】

本発明による携帯端末は、購買者を識別するための購買者識別情報を記憶する手段と、販売者が販売し前記購買者が購買する商品又は役務の取引についての取引情報と前記販売者を識別するための販売者識別情報を読み込む手段と、前記購買者の認証情報を読み込む手段と、前記販売者識別情報と前記購買者識別情報と前記取引情報と前記認証情報を決済コンピュータに送信する手段と、を備えることを特徴とする携帯端末。

【 0 0 4 4 】

また、本発明による携帯端末は、上記の携帯端末において、前記決済コンピュータから決済完了情報を受信する手段を更に備えることを特徴とする。

【 0 0 4 5 】

本発明による決済コンピュータは、携帯端末より販売者を識別するための販売者識別情報と購買者を識別するための購買者識別情報と前記販売者が販売し前記購買者が購買する商品又は役務の取引についての取引情報と前記購買者の認証情報を受信する手段と、前記購買者識別情報と前記認証情報により購買者認証をする手段と、前記購買者認証が成功したときに、前記販売者識別情報と前記購買者識別情報と前記取引情報を利用して決済をする手段と、を備えることを特徴とする。

【 0 0 4 6 】

また、本発明による決済コンピュータは、上記の決済コンピュータにおいて、前記決済が完了した後に、決済完了情報を前記販売者情報により示される前記販売者の装置に送信する第1の送信手段を更に備えることを特徴とする。

【 0 0 4 7 】

更に、本発明による決済コンピュータは、上記の決済コンピュータにおいて前

記第 1 の送信手段は、前記取引情報も前記装置に送信することを特徴とする。

【 0 0 4 8 】

更に、本発明による決済コンピュータは、上記の決済コンピュータにおいて、前記第 1 の送信手段は、前記購買者識別情報も前記装置に送信することを特徴とする。

【 0 0 4 9 】

更に、本発明による決済コンピュータは、上記の決済コンピュータにおいて、前記購買者識別情報と購買者付帯情報を対応付けて前もって記憶する手段を更に備え、前記第 1 の送信手段は、前記購買者識別情報に対応する前記購買者付帯情報も前記装置に送信することを特徴とする。

【 0 0 5 0 】

更に、本発明による決済コンピュータは、上記の決済コンピュータにおいて、前記決済が完了した後に、決済完了情報を前記携帯端末に送信する第 2 の送信手段を更に備えることを特徴とする。

【 0 0 5 1 】

更に、本発明による決済コンピュータは、上記の決済コンピュータにおいて、前記第 2 の送信手段は、前記取引情報も前記携帯端末に送信することを特徴とする。

【 0 0 5 2 】

更に、本発明による決済コンピュータは、上記の決済コンピュータにおいて、前記第 2 の送信手段は、前記販売者識別情報も送信することを特徴とする。

【 0 0 5 3 】

更に、本発明による決済コンピュータは、上記の決済コンピュータにおいて、前記販売者識別情報と販売者付帯情報を対応付けて前もって記憶する手段を更に備え、前記第 2 の送信手段は、前記販売者識別情報に対応する前記販売者付帯情報も前記携帯端末に送信することを特徴とする。

【 0 0 5 4 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施形態について説明する。

【 0 0 5 5 】

図 1 を参照すると、本実施形態の携帯端末 1 0 1 は、P D C 端末、P H S 端末、C D M A 移動端末等である。携帯端末は、音声を入力するためのマイク 1 0 2 、入力された音声や C P U 1 0 9 等から入力される情報を符号化するエンコーダ 1 0 3 、エンコードされた音声や情報を変調する変調器 1 0 4 、変調された音声や情報を電波として送信するアンテナ 1 0 5 、アンテナ 1 0 5 で受信した電波を復調する復調器 1 0 6 、復調器 1 0 6 が出力する復調信号を音声や情報にデコードするデコーダ 1 0 7 、デコードされた音声を出力するスピーカ 1 0 8 を備える。また、携帯端末 1 0 1 は、携帯端末 1 0 1 の全体の動作を制御する C P U 1 0 9 及び C P U 1 0 9 にその制御動作を実行させるためのプログラムを記録した R O M 1 1 0 を備える。

【 0 0 5 6 】

更に、携帯端末 1 0 1 は、通話先の電話番号や携帯端末 1 0 1 自体の電話番号や、コマンドや携帯端末 1 0 1 に割り当てられた e - m a i l アドレス等を入力する操作ボタン 1 1 1 、入力された携帯端末 1 0 1 自体の電話番号や携帯端末 1 0 1 に割り当てられた e - m a i l アドレスや様々な情報を記憶する不揮発性メモリ 1 1 2 、バーコードリーダやイメージセンサや電子情報読込装置や磁気センサや受信機などのセンサ 1 1 3 、指紋読込装置、イメージセンサ等の認証情報読込装置 1 1 4 、電話番号や、文字、数字等で表される情報を表示する画面 1 1 5 を備える。認証情報読込装置 1 1 4 は、操作ボタン 1 1 1 であってもよい。

【 0 0 5 7 】

携帯端末の所持者は、後に購買者となる者である。上記の電話番号や e - m a i l アドレスは、購買者識別情報である。

【 0 0 5 8 】

図 2 を参照すると、本実施形態の決済コンピュータ 2 0 1 は、購買者識別情報と購買者の認証情報と購買者付帯情報が対応付けて記録された購買者データベース 2 0 2 、販売者識別情報と販売者付帯情報が対応付けて記録された販売者データベース 2 0 3 、購買者の口座 2 0 4 、販売者の口座 2 0 5 、携帯端末 1 0 1 から販売者識別情報、購買者識別情報、取引情報、認証情報等を受信する受信手段

206、受信手段206から入力した購買者識別情報と認証情報を基に、購買者データベース202を参照して購買者認証を行い認証が成功したならば認証成功情報を出力する購買者認証手段207、認証成功情報を入力したならば販売者識別情報、購買者識別情報、取引情報を基に、購買者データベース202、販売者データベース203を参照して、購買者の口座204と販売者の口座205との間で振り替えによる決済を行い、決済が完了したならば決済完了情報を出力する決済手段208、決済完了情報を入力したならば、受信手段206より販売者識別情報と購買者識別情報と取引情報を入力し、購買者識別情報を基に購買者データベース202を参照して購買者付帯情報を得て、販売者識別情報を基に販売者データベース203を参照して販売者付帯情報を得て、決済完了情報と取引情報と購買者識別情報と購買者付帯情報を第1の送信手段210に出力し、決済完了情報と取引情報と販売者識別情報と販売者付帯情報を第2の送信手段211に出力する送信情報収集手段209と、送信情報収集手段209より入力した決済完了情報と取引情報と購買者識別情報と購買者付帯情報を販売者の装置301に送信する第1の送信手段210と、送信情報収集手段209より入力した決済完了情報と取引情報と販売者識別情報と販売者付帯情報を携帯端末101に送信する第2の送信手段211を備える。

【0059】

次に、図1乃至7を参照して本発明の実施形態の動作について説明する。

【0060】

まず、携帯端末101が購買者識別情報を不揮発性メモリ112に記憶する（ステップ301）。次に、販売者が販売者識別情報、取引情報を携帯端末101がセンサ113で読み取れる形態で用意する（ステップ302）。次に、購買者の操作により携帯端末101がセンサ113で販売者識別情報、取引情報を読み込む（ステップ303）。次に、購買者の操作又は自発的な動作により携帯端末101が認証情報読込装置114で購買者の認証情報を読み込む（ステップ304）。次に、携帯端末101が販売者識別情報、購買者識別情報、取引情報を画面115に表示する。次に、携帯端末101が送信可否信号を購入者から操作ボタン111を介して入力する（ステップ305）。次に、携帯端末101が送信

可否信号が肯定的であったか否かを判定する（ステップ307）。判定の結果が否定的であれば、携帯端末101は決済の為の動作を中止する。判定の結果が肯定的であれば、携帯端末は販売者識別情報、購買者識別情報、取引情報、認証情報をエンコーダ103、変調器104、アンテナ105を介して、決済コンピュータ201に送信する（ステップ308）。

【0061】

決済コンピュータ201では、受信手段206が送信されてきた販売者識別情報、購買者識別情報、取引情報、認証情報を受けた後、購買者認証手段207が購買者識別情報と認証情報に基づき購買者データベース202を参照して購買者認証をする（ステップ309）。購買者認証が失敗した場合には決済のための動作は終了する。終了の際には、携帯端末101に認証失敗の旨を送信しても良い。購買者認証が成功した場合には、決済手段208が販売者識別情報、購買者識別情報、取引情報を利用して決済をする（ステップ311）。決済の際には購買者の口座204から販売者の口座205への振替が行われる。

【0062】

決済が終了したならば、決済コンピュータは、第1の送信手段210から決済完了情報、取引情報、購買者識別情報、購買者付帯情報を販売者識別情報により示される販売者の装置301に送信し（ステップ312）、決済完了情報、取引情報、販売者識別情報、販売者付帯情報を携帯端末1010に送信する（ステップ316）。

【0063】

販売者の装置301は取引情報、購買者識別情報、購買者付帯情報を受信したならば、決済完了情報、取引情報に応じた動作をして（ステップ313）、受信した情報を表示又は印刷し（ステップ314）、記憶する（ステップ315）。

【0064】

携帯端末は決済完了情報、取引情報、販売者識別情報、販売者付帯情報を受信したならば、受信した情報を画面115に表示し（ステップ317）、不揮発性メモリ112に記憶する（ステップ318）。

【0065】

次に、販売者付帯情報を携帯端末 1 0 1 が送信可否信号を入力する前に画面 1 1 5 に表示する第 1 の実施形態を図 4 を参照して説明する。

【 0 0 6 6 】

決済コンピュータ 2 0 1 は、取引が行われるのに先立って、販売者識別情報と販売者付帯情報を対応付けて販売者データベース 2 0 3 に記憶する（ステップ 4 0 1）。

【 0 0 6 7 】

携帯端末 1 0 1 は、購買者の認証情報を読み込んだならば（ステップ 3 0 4）、販売者識別情報を決済コンピュータ 2 0 1 に送信して販売者識別情報に対応した販売者付帯情報を問い合わせる（ステップ 4 0 2）。決済機関 2 0 1 は、問い合わせを受けたならば、販売者識別情報に対応した販売者付帯情報を販売者データベース 2 0 3 から検索し、携帯端末 1 0 1 に送信する（ステップ 4 0 3）。

【 0 0 6 8 】

販売者付帯情報を受信したならば、携帯端末 1 0 1 は、販売者識別情報、購買者識別情報、取引情報を表示する（ステップ 3 0 5）のみならず、販売者付帯情報も表示する（ステップ 3 0 5 B）。ステップ 3 0 5 以降は、図 3 のステップ 3 0 6 からの動作と同一の動作を行う。

【 0 0 6 9 】

次に、販売者付帯情報を携帯端末 1 0 1 が送信可否信号を入力する前に画面 1 1 5 に表示する第 2 の実施形態を図 5 を参照して説明する。

【 0 0 7 0 】

販売者は販売者識別情報、取引情報を用意する（ステップ 3 0 2）のみならず、販売者付帯情報も、携帯端末 1 0 1 がセンサ 1 1 3 で読み込める携帯で用意する（ステップ 3 0 2 B）。携帯端末 1 0 1 は、販売者識別情報、取引情報を読み込む（ステップ 3 0 3）のみならず、販売者付帯情報も読み込む（ステップ 3 0 3 B）。

【 0 0 7 1 】

また、携帯端末 1 0 1 は、認証情報を読み込んだ（ステップ 3 0 4）後に、販売者識別情報、購買者識別情報、取引情報を表示する（ステップ 3 0 5）のみな

らず、購買者付帯情報も表示する（ステップ305B）。

【0072】

また、携帯端末101は、送信可否信号が肯定的であったならば、販売者識別情報、購買者識別情報、取引情報、認証情報を決済コンピュータ201に送信する（ステップ308）のみならず、販売者付帯情報も決済コンピュータ201に送信する（ステップ308B）。なお、販売者データベース203に販売者付帯情報も記憶されているならば、ステップ308をステップ308Bに置き換える必要はない。

【0073】

ステップ308B以降は、図3のステップ309からの動作と同一の動作を行う。

【0074】

また、図6、7に示すように、携帯端末101は、送信可否信号を入力する（ステップ306）前に、表示した情報を不揮発性メモリ112に記憶しても良い（ステップ601、701）。また、送信可否信号が肯定的であったときに、取引情報等を送信する前に、表示した情報を不揮発性メモリ112に記憶しても良い。

【0075】

次に、より具体的な実施形態について説明する。

【0076】

商品の販売者は、購買者が購買する前に商品に1次元又は2次元のバーコード、電子的コードの記憶されたタグ、磁気的コードの記憶されたタグ等を直接又は間接に付しておく。商品に付されたバーコード、タグ等には、販売者識別情報である販売者コード、取引情報である商品の識別情報、名称、価格を示すコードが記録されている。

【0077】

商品の販売者は、購買者が購買する複数の商品をレジに持参したときに、商品の合計金額を計算してから、販売者識別情報及び取引情報を作成しても良い。この場合、販売者識別情報は販売者コードであり、取引情報は、取引の識別情報及

び商品の合計金額である。

【0078】

販売者識別情報及び取引情報は、センサにより読み込み可能な光学的形態、電気的形態、磁氣的形態又は電波形態で作成する。飲食店等の役務の販売者が販売者識別情報及び取引情報を作成する場合も同様である。

【0079】

なお、販売者識別情報に販売者の名称、住所、電話番号等の販売者付帯情報を添えてセンサにより読み取り可能な形態で作成しても良い。

【0080】

購買者は、上記のように販売者により用意された販売者識別情報、取引情報及び販売者付帯情報を携帯電話101に備えられたセンサ113で読み取る。センサ113は、販売者識別情報、取引情報及び販売者付帯情報が1次元又は2次元のバーコードの形態である場合には、バーコードリーダであり、それらが電気的情報である場合には、電気的端子を備える電子回路であり、それらが磁氣的情報である場合には、磁気センサであり、それらが電波情報である場合には、受信機である。

【0081】

次に、購買者は、認証情報を携帯電話101に備えられた認証情報読込装置114から入力する。認証情報は、例えば、暗証番号、音声、指紋情報又は眼球情報等である。認証情報読込装置114は、認証情報が暗証番号である場合には、操作ボタン111と同一であり、認証情報が音声である場合には、マイクであり、認証情報が指紋情報である場合には、指紋読み込み装置であり、認証情報が眼球情報である場合には、イメージセンサである。イメージセンサである場合には、バーコードリーダと共通化することも可能である。

【0082】

次に、携帯端末101は、販売者識別情報、購買者識別情報、取引情報、認証情報、販売者付帯情報を、決済コンピュータ201に送信する。決済コンピュータ201の使用者又は使用委託者である決済機関は、銀行、クレジット会社等である。

【 0 0 8 3 】

決済コンピュータ 2 0 1 は、予め購買者識別情報、認証情報及び購買者付帯情報とを対応付けて記録した購買者データベース 2 0 2 を備える。購買者付帯情報は、購買者の氏名、住所、電話番号、性別、年齢等である。また、決済コンピュータ 2 0 1 は、予め販売者識別情報と販売者付帯情報を対応付けて記録した販売者データベース 2 0 3 を備える。販売者付帯情報は、販売者の名称、住所、電話番号等である。

【 0 0 8 4 】

次に、決済コンピュータ 2 0 1 は、受信した購買者識別情報と認証情報を基に、購買者データベース 2 0 2 を参照して、購買者認証を行う。

【 0 0 8 5 】

購買者認証が成功したならば、決済コンピュータ 2 0 1 は、販売者識別情報と購買者識別情報と取引情報を利用して決済をする。決済の内容は、購買者識別情報により示される購買者の口座 2 0 4 から販売者識別情報により示される販売者の口座 2 0 5 への振り替えである。このとき、取引情報により示される金額以外の項目（商品の名称、取引の識別情報等）も振り替え情報に付加しても良い。

【 0 0 8 6 】

決済が完了したならば、決済コンピュータ 2 0 1 は、決済完了情報を販売者識別情報により示される販売者の装置及び携帯端末 1 0 1 の両者又は一方に送信する。販売者の装置に送信される決済完了情報には、取引情報、購買者識別情報、購買者付帯情報を付加しても良い。携帯端末 1 0 1 に送信される決済完了情報には、取引情報、販売者識別情報、販売者付帯情報を付加しても良い。

【 0 0 8 7 】

販売者の装置は、例えば、コンピュータ、レジスタ、タグ管理装置、ゲート開閉器等である。

【 0 0 8 8 】

販売者の装置は、決済完了情報等を受信したならば所定の動作をする。所定の動作の内容は、販売者の装置がコンピュータやレジスタである場合には、決済完了情報等の画面への表示、印刷及び記憶装置への記憶であり、販売者の装置がタ

グ管理装置である場合には、取引情報により示される商品の識別情報についての盗難防止フラグのリセットであり、販売者の装置がゲート開閉器である場合には、ゲートを開くことである。販売者の装置が所定の動作をすることにより、直接又は販売者を介して、不正な者が不正に商品又は役務を取得することを防止することが可能となる。

【 0 0 8 9 】

また、販売者の装置の動作を確実にするために、購買者又は販売者が決済コンピュータ 2 0 1 を介さないで入力した情報と決済コンピュータ 2 0 1 から受信した情報を販売者の装置は照合しても良い。

【 0 0 9 0 】

携帯端末 1 0 1 は、決済完了情報等を受信したならば、決済完了情報等を画面 1 1 5 に表示したり、不揮発性メモリ 1 1 2 に記憶したりする。不揮発性メモリ 1 1 2 に記憶された取引情報、販売者識別情報、販売者付帯情報等は複数の取引について蓄積することが可能であり、これらを後に購買者が確認したり、集計したりすることが可能となる。

【 0 0 9 1 】

なお、上記の説明では、携帯端末 1 0 1 は、販売者識別情報、取引情報等を読み込んだならば、無条件に販売者識別情報、購買者識別情報、取引情報、認証情報等を決済コンピュータ 2 0 1 に送信するとしたが、こうすると購買者が自分にとって不本意な販売者情報、取引情報等を送り、決済がされてしまうおそれがある。そこで、送信する前に、携帯端末 1 0 1 が、販売者識別情報、販売者付帯情報、取引情報を表示し、購買者が、それらの情報を送信してよいか否かを携帯端末 1 0 1 に入力するための操作ボタン 1 1 1 の操作を行い、その操作が購買者がそれらの情報を送信しても良いことを意図していることを示しているときにのみ携帯端末 1 0 1 が販売者識別情報、購買者識別情報、取引情報、認証情報等を決済コンピュータ 2 0 1 に送信するようにしても良い。

【 0 0 9 2 】

携帯端末 1 0 1 が、販売者識別情報、購買者識別情報、取引情報、認証情報等を送信する前に販売者付帯情報を表示する方法について説明すると、販売者識別

情報、購買者識別情報と共に販売者付帯情報を販売者が提示している場合には、携帯端末 1 0 1 のセンサ 1 1 3 で販売者識別情報、購買者識別情報と共に販売者付帯情報を読み取り、販売者識別情報、購買者識別情報と共に販売者付帯情報を表示すればよい。

【 0 0 9 3 】

販売者識別情報、購買者識別情報と共に販売者付帯情報を販売者が提示していない場合には、次のようになる。すなわち、携帯端末 1 0 1 は、販売者識別情報、購買者識別情報と共に販売者付帯情報を表示する前に、販売者識別情報を付随した販売者付帯情報の問い合わせを決済コンピュータ 2 0 1 に送信する。決済コンピュータ 2 0 1 は、この問い合わせを受けたならば、問い合わせに付随していた販売者識別情報に対応した販売者付帯情報を販売者データベース 2 0 3 から検索し、携帯端末 1 0 1 に送信する。携帯端末は、受信した販売者付帯情報を、販売者識別情報、購買者識別情報と共に表示する。

【 0 0 9 4 】

【実施例】

次に、本発明の実施例について説明する。

【 0 0 9 5 】

〔ボックスショップ〕

ボックスショップにおいては、各商品の箱にコードが書き込まれた電子タグが付されている。レジの管理コンピュータで、ある電子タグのコードについて、セキュリティフラグをリセットすると、その電子タグを付した商品をゲートに通しても、警告ブザーは鳴らないが、セキュリティフラグをリセットしていないコードを有する電子タグを付した商品をゲートに通すと警告ブザーが鳴るので、盗難防止を図ることができる。

【 0 0 9 6 】

携帯端末の電話番号や携帯端末の所有者の電子メールアドレス等の購買者識別情報は、予め携帯端末の所有者が携帯端末に記憶させておく。

【 0 0 9 7 】

販売者は、ボックスショップに置く各商品に、商品の識別情報、商品の固体識

別情報等のコードが書き込まれた電子タグとそのコードに対応したバーコードを付しておく。バーコードには、販売者識別情報、販売者付帯情報、取引情報を記録しておく。販売者付帯情報には、販売者の名称、販売者の住所、販売者の電話番号を含ませ、取引情報には、商品の識別情報、商品の固体識別情報、商品の名称、商品の価格を含ませておく。

【 0 0 9 8 】

購買者は、ボックスショップ内で、携帯端末にそれに備えられたバーコードリーダーで購買したい商品に付されているバーコードを読み取らせる。次に、購買者は、携帯端末に認証情報を読み込ませる。次に、携帯端末は、商品の名称、商品の価格、販売者の名称、購買者識別情報等を画面に表示する。それを読んだ購買者は、購買を決心したならば、購買するためのキー操作を携帯端末に対して行う。次に、携帯端末は、販売者識別情報、購買者識別情報、取引情報、認証情報等を決済コンピュータに送信する。

【 0 0 9 9 】

決済コンピュータは、実施の形態で説明したように認証、決済を行うと、決済完了情報、取引情報、購買者識別情報、購買者付帯情報等をボックスショップの管理コンピュータに送信する。管理コンピュータは、決済完了情報、取引情報、購買者識別情報、購買者付帯情報等を受信すると、取引情報に含まれる商品固体識別情報についてセキュリティフラグをリセットする。また、管理コンピュータは、決済完了情報、取引情報、購買者識別情報、購買者付帯情報等に従って、販売内容をデータベースに記録する。

【 0 1 0 0 】

また、決済コンピュータは、認証、決済を行うと、決済完了情報、取引情報、販売者識別情報、販売者付帯情報等を携帯端末に送信する。携帯端末は決済完了情報、取引情報、販売者識別情報、販売者付帯情報等を受信するとそれらを画面に表示する。従って、購買者は買おうとしている商品について決済が完了したことを知ることができる。また、携帯端末は、取引情報、販売者識別情報、販売者付帯情報等を記憶してもよい。

【 0 1 0 1 】

次に、購買者は、電子タグの付されている商品を持ってゲートを通るが、その電子タグのコードについてセキュリティフラグがリセットされているので、警告ブザーは鳴らない。

【0102】

このようにして、レジ店員がいなくても、ボックスショップは商品の販売をすることが可能になる。また、購買者はレジの列に並ぶ必要が無くなる。

【0103】

〔飲食物自動販売機（1）〕

携帯端末の電話番号や携帯端末の所有者の電子メールアドレス等の購買者識別情報は、予め携帯端末の所有者が携帯端末に記憶させておく。

【0104】

飲食物自動販売機の各サンプル窓の近傍に販売者識別情報と販売者付帯情報と取引情報をコード化したバーコードを付しておく。販売者識別情報には、販売者の識別情報と販売機の識別情報を含ませておく。販売者付帯情報には販売者の名称、販売者の名称、販売者の電話番号を含ませておく。取引情報には、各飲食物の識別情報、各飲食物の名称、各飲食物の価格を含ませておく。

【0105】

飲食物自動販売機で販売されているある種類の飲食物を購入しようとする購買者は、その飲食物のサンプル窓の近傍に付されているバーコードを携帯端末に付されているバーコードリーダーで読み込ませる。次に、携帯端末は、飲食物の名称、飲食物の価格、販売者の名称、購買者識別情報等を画面に表示する。それを読んだ購買者は、購買を決心したならば、購買するためのキー操作を携帯端末に対して行う。次に、携帯端末は、販売者識別情報、販売者付帯情報、購買者識別情報、取引情報、認証情報等を決済コンピュータに送信する。

【0106】

決済コンピュータは、実施の形態で説明したように認証、決済を行うと、決済完了情報、取引情報等を販売者識別情報中の販売機識別情報で示される飲食物自動販売機に送信する。飲食物自動販売機は、決済完了情報、取引情報等を受信すると、取引情報に含まれる飲食物の識別情報に対応した飲食物を飲食物取出口に

出す。また、自動販売機は、決済完了情報、取引情報等に従って、販売内容を記録媒体に記録してもよい。

【 0 1 0 7 】

また、決済コンピュータは、認証、決済を行うと、決済完了情報、取引情報、販売者情報、販売者付帯情報等を携帯端末に送信する。携帯端末は決済完了情報、取引情報、販売者情報、販売者付帯情報等を受信するとそれらを画面に表示する。従って、購買者は買おうとしている飲食物について決済が完了したことを知ることができる。また、携帯端末は、取引情報、販売者情報、販売者付帯情報等を記憶しても良い。

【 0 1 0 8 】

〔飲食物自動販売機（2）〕

携帯端末の電話番号や携帯端末の所有者の電子メールアドレス等の購買者識別情報は、予め携帯端末の所有者が携帯端末に記憶させておく。

【 0 1 0 9 】

飲食物自動販売機は、通常の飲食物を選択するためのボタンに加え、携帯端末決済開始のためのボタン、飲食物の購買数量を入力するためのボタン、購買飲食物選択終了のためのボタン、販売者識別情報、販売者付帯情報、取引情報を光学的形態、電氣的形態、磁氣的形態又は電波形態により出力するための出力装置を備える。販売者識別情報には、販売者の識別情報と販売機の識別情報を含ませておく。販売者付帯情報には販売者の名称、販売者の名称、販売者の電話番号を含ませておく。取引情報には、選択された1乃至複数の飲食物の各々についての識別情報、名称、単価及び購買数量並びに合計金額を含ませておく。

【 0 1 1 0 】

飲食物自動販売機で販売されている1乃至複数種類の飲食物をそれぞれの種類について所望の数量だけ購買しようとする購買者は、携帯端末決済開始のためのボタンを押す。次に、購買者は、1乃至複数種類の飲食物をそれぞれの種類について所望の数量だけ購買するためのボタン操作をする。次に、購買者は、購買飲食物選択終了のためのボタンを押す。次に、自動販売機は、販売者情報、販売者付帯情報、ボタン操作による選択内容に基づいた取引情報を即時に生成し、所定

の形態で出力装置に出力する。購買者は、販売者情報、販売者付帯情報、取引情報をそれらが表されている所定の形態に対応した携帯端末に備えられているセンサ又は読込装置で携帯端末に読み込ませる。次に、携帯端末は、各飲食物の名称、各飲食物の購買数量、各飲食物の単価、合計金額、販売者の名称、購買者識別情報等を画面に表示する。それを読んだ購買者は、購買を決心したならば、購買するためのキー操作を携帯端末に対して行う。次に、携帯端末は、販売者識別情報、販売者付帯情報、購買者識別情報、取引情報、認証情報等を決済コンピュータに送信する。

【 0 1 1 1 】

決済コンピュータは、実施の形態で説明したように認証、決済を行うと、決済完了情報、取引情報等を販売者識別情報中の販売機識別情報で示される飲食物自動販売機に送信する。飲食物自動販売機は、決済完了情報、取引情報等を受信すると、取引情報に含まれる 1 乃至複数の飲食物の各々の識別情報に対応した飲食物を購買数量だけ飲食物取出口に出す。また、自動販売機は、決済完了情報、取引情報等に従って、販売内容を記録媒体に記録してもよい。

【 0 1 1 2 】

また、決済コンピュータは、認証、決済を行うと、決済完了情報、取引情報、販売者情報、販売者付帯情報等を携帯端末に送信する。携帯端末は決済完了情報、取引情報、販売者情報、販売者付帯情報等を受信するとそれらを画面に表示する。従って、購買者は買おうとしている飲食物について決済が完了したことを知ることができる。また、携帯端末は、取引情報、販売者情報、販売者付帯情報等を記憶しても良い。

【 0 1 1 3 】

〔スーパーマーケット (1) 〕

携帯端末の電話番号や携帯端末の所有者の電子メールアドレス等の購買者識別情報は、予め携帯端末の所有者が携帯端末に記憶させておく。

【 0 1 1 4 】

購買者は、スーパーマーケットの店内で、所望の商品を選択して買い物籠に入れ、レジのカウンタで買い物籠を置く。次に、店員は、買い物籠に入っている商

品の各々について、商品に付されたバーコードをレジスタに読み込ませる。商品に付されたバーコードは、商品の識別情報、名称、単価のエンコードされた情報を持つ。また、商品に付されたバーコードに、販売者識別情報、販売者付帯情報を持たせても良い。

【0115】

次に、店員は、合計金額をレジスタに計算させるためのボタン操作をする。次に、レジスタは、合計金額を計算した後に、各商品の識別情報、名称、単価及び購買数量並びに合計金額を示す取引情報、販売者識別情報、販売者付帯情報を即時に生成し、所定の形態で出力装置に出力する。販売者識別情報には、レジスタの識別情報も含ませる。取引情報には、取引の識別情報も含ませる。次に、購買者は、その所定の形態に対応した携帯端末のセンサ又は読み込み装置で取引情報、販売者識別情報、販売者付帯情報を携帯端末に読み込ませる。次に、携帯端末は、各商品の名称、単価及び購買数量、合計金額、販売者の名称、購買者識別情報等を画面に表示する。それを読んだ購買者は、購買を決心したならば、購買するためのキー操作を携帯端末に対して行う。次に、携帯端末は、販売者識別情報、販売者付帯情報、購買者識別情報、取引情報、認証情報等を決済コンピュータに送信する。

【0116】

決済コンピュータは、実施の形態で説明したように認証、決済を行うと、決済完了情報、取引情報、購買者識別情報、購買者付帯情報等を販売者識別情報で示されるレジスタに送信する。次に、レジスタは、決済完了情報、取引識別情報等を画面に表示する。この画面の内容を見た店員は、決済が完了したことを確認し、購買者にその旨を伝える。

【0117】

また、レジスタ又はレジスタの集中管理コンピュータは、決済完了情報、取引情報、購買者識別情報、購買者付帯情報等に従って、販売内容をデータベースに記録する。

【0118】

また、決済コンピュータは、認証、決済を行うと、決済完了情報、取引情報、

販売者情報、販売者付帯情報等を携帯端末に送信する。携帯端末は決済完了情報、取引情報、販売者情報、販売者付帯情報等を受信するとそれらを画面に表示する。従って、購買者は買おうとしている商品について決済が完了したことを知ることができる。また、携帯端末は、取引情報、販売者情報、販売者付帯情報等を記憶しても良い。

【 0 1 1 9 】

決済が完了したことを店員から知らされた、又は形態末で確認した購買者は、スーパーマーケットから出る。

【 0 1 2 0 】

〔スーパーマーケット（２）〕

携帯端末の電話番号や携帯端末の所有者の電子メールアドレス等の購買者識別情報は、予め携帯端末の所有者が携帯端末に記憶させておく。

【 0 1 2 1 】

購買者は、スーパーマーケットの店内で、所望の商品を選択して買い物籠に入れる。次に、購買者は携帯端末決済のためのコーナーで、買い物籠に入れた商品の各々について、商品に付されたバーコードを携帯端末に付されたバーコードリーダーで携帯端末に読み込ませる。また、購買者は、そのコーナーに用意されている販売者識別情報、販売者付帯情報を持つバーコードを携帯端末のバーコードリーダーで携帯端末に読み込ませる。商品に付されたバーコードは、商品の識別情報、名称、単価のエンコードされた情報を持つ。商品の識別情報、名称、単価のエンコードされた情報は基礎情報である。また、商品に付されたバーコードに、販売者識別情報、販売者付帯情報を持たせても良いが、この場合には、購買者は、そのコーナーに用意されている販売者識別情報、販売者付帯情報を持つバーコードを携帯端末のバーコードリーダーで携帯端末に読み込ませる必要はない。

【 0 1 2 2 】

次に、購買者は、合計金額を携帯端末に計算させるためのボタン操作をする。次に、携帯端末は、自ら備える計算手段又は受信した計算プログラムにより合計金額を計算した後に、各商品の識別情報、名称、単価及び購買数量並びに合計金額を示す取引情報を即時に生成する。次に、携帯端末は、各商品の名称、単価及

び購買数量、合計金額、販売者の名称、購買者識別情報等を画面に表示する。それを読んだ購買者は、購買を決心したならば、購買するためのキー操作を携帯端末に対して行う。次に、携帯端末は、販売者識別情報、販売者付帯情報、購買者識別情報、取引情報、認証情報等を決済コンピュータに送信する。

【0123】

決済コンピュータは、実施の形態で説明したように認証、決済を行うと、決済完了情報、取引情報、購買者識別情報、購買者付帯情報等を販売者識別情報中で示される販売者の販売記録用のコンピュータに送信する。販売記録用のコンピュータは、決済完了情報、取引情報、購買者識別情報、購買者付帯情報等に従って、販売内容をデータベースに記録する。

【0124】

また、決済コンピュータは、認証、決済を行うと、決済完了情報、取引情報、販売者情報、販売者付帯情報等を携帯端末に送信する。携帯端末は決済完了情報、取引情報、販売者情報、販売者付帯情報等を受信するとそれらを画面に表示する。従って、購買者は買おうとしている商品について決済が完了したことを知ることができる。また、携帯端末は、取引情報、販売者情報、販売者付帯情報等を記憶しても良い。

【0125】

決済が完了したことを確認した購買者は、スーパーマーケットから出る。

【0126】

この方法では、決済をしないで、或いは決済内容を誤魔化してスーパーマーケットを出る者が出るおそれがあるが、例えば、抜き打ち検査をすることにより、このようなことを抑圧することが可能である。

【0127】

[首都高速道路]

携帯端末の電話番号や携帯端末の所有者の電子メールアドレス等の購買者識別情報は、予め携帯端末の所有者が携帯端末に記憶させておく。

【0128】

料金所の手前に、販売者識別情報、販売者付帯情報、取引情報を所定の形態で

出力する出力装置を設置しておく。販売者識別情報には料金所の識別情報も含ませる。また、販売者付帯情報は、道路公団の名称等であり、取引情報は、通行料金等である。

【 0 1 2 9 】

首都高速道路の料金所の手前に設けられた出力装置まで車が来ると、運転者又は搭乗者は、出力装置から所定の形態で出力されている販売者識別情報、販売者付帯情報、取引情報をその形態に対応した携帯端末に備えられた又は携帯端末と接続されたセンサ又は読み込み装置で携帯端末に読み取らせる。販売者識別情報、販売者付帯情報、取引情報がバーコードで表されている場合には車を停止又は徐行させてバーコードリーダーで読み込ませるが、それらの情報が電波形態で表されている場合には、車を停止又は徐行させることなく受信機で受信して読み込むことができる。

【 0 1 3 0 】

次に、携帯端末は、携帯端末に備えられた、又は携帯端末と接続された読込装置で認証情報を読み込む。認証情報を音声とするならば、読込装置は携帯端末のマイクであれば良い。認証情報が指紋情報であれば、携帯端末に備えられた指紋読込装置であっても良いし、ハンドル等に備えられた指紋読込装置であっても良い。

【 0 1 3 1 】

次に、携帯端末は、販売者識別情報、販売者付帯情報に含まれる道路公団の名称、取引情報に含まれる通行料金等を携帯端末の画面又は携帯端末に接続された表示装置の画面に表示する。それを読んだ運転者は、料金所進入を決意したならば、決済承諾のためのキー操作を携帯端末のキー又はハンドル等などに備えられているボタンに対して行う。キー操作の代わりに承諾の旨の言葉の発声でも良い。次に、携帯端末は、販売者識別情報、販売者付帯情報、購買者識別情報、取引情報、認証情報等を決済コンピュータに送信する。なお、決済承諾のための手順を省略して、自動承諾としても良い。

【 0 1 3 2 】

決済コンピュータは、実施の形態で説明したように認証、決済を行うと、決済

完了情報、取引情報、購買者情報、購買者付帯情報等を販売者識別情報中で示される料金所のコンピュータに送信する。決済完了情報には、決済コンピュータで生成された決済番号も含まれる。料金所のコンピュータは、決済完了情報、取引情報、購買者情報、購買者付帯情報等を受信すると、それらの情報を画面に表示する。

【0133】

また、決済コンピュータは、認証、決済を行うと、決済完了情報、取引情報、販売者情報、販売者付帯情報等を携帯端末に送信する。携帯端末は決済完了情報、取引情報、販売者情報、販売者付帯情報等を受信するとそれらを画面に表示する。従って、運転者等は料金所の通過について決済が完了したことを知ることができる。また、携帯端末は、取引情報、販売者情報、販売者付帯情報等を記憶する。

【0134】

料金所では、車の進入を検出したならば、料金所のコンピュータが受信した決済番号と、その車の運転者等が保有する決済番号との照合を行い、照合が失敗した場合には、通行料金の徴収、ナンバープレート、運転者等の写真撮影等を行う。

【0135】

料金所での上記の方法は、係員が行っても良いし、装置が行っても良い。装置が行う場合には、車の進入は物体センサが行い、照合は料金所のコンピュータと携帯端末との間の近距離通信或いは基地局を介した通信により行う。

【0136】

[東名高速道路(1)]

携帯端末の電話番号や携帯端末の所有者の電子メールアドレス等の購買者識別情報は、予め携帯端末の所有者が携帯端末に記憶させておく。

【0137】

入り口ゲートには、従来と同様にカード発行機を設置しておく。

【0138】

運転者等は、高速道路進入時に、入り口ゲートで入り口ゲートの識別情報が記

録されているカードを取得する。次に、行き先の料金所に車が到着したならば、運転者等はカードを係員に手渡す。

【 0 1 3 9 】

係員は、コンピュータに、カードに記録されている入りロゲートの識別情報を利用した入りロゲートから料金所までの通行料金を計算させ、販売者識別情報、販売者付帯情報、取引情報を記録したバーコードを紙に印刷させる。販売者識別情報は料金所識別情報も含む。販売者付帯情報は、道路公団の名称等であり、取引情報は、通行料金、入りロゲートの所在地の名称、料金所の所在地の名称、それらの所在地間の距離等である。係員は、バーコードの印刷された紙を運転者等に手渡す。

【 0 1 4 0 】

次に、運転者又は搭乗者は、バーコードを携帯端末に備えられたバーコードリーダーで携帯端末に読み取らせる。次に、運転者又は搭乗者は、携帯端末に備えられた読込装置で認証情報を携帯端末に読み込ませる。

【 0 1 4 1 】

次に、携帯端末は、販売者識別情報、販売者付帯情報に含まれる道路公団の名称、取引情報に含まれる通行料金等を携帯端末の画面に表示する。それを読んだ運転者は、決済承諾を決心したならば、決済承諾のためのキー操作を携帯端末に備えられているボタンに対して行う。キー操作の代わりに承諾の旨の言葉の発声でも良い。次に、携帯端末は、販売者識別情報、販売者付帯情報、購買者識別情報、取引情報、認証情報等を決済コンピュータに送信する。

【 0 1 4 2 】

決済コンピュータは、実施の形態で説明したように認証、決済を行うと、決済完了情報、取引情報、購買者情報、購買者付帯情報等を販売者識別情報中で示される料金所のコンピュータに送信する。決済完了情報には、決済コンピュータで生成された決済番号も含まれる。料金所のコンピュータは、決済完了情報、取引情報、購買者情報、購買者付帯情報等を受信すると、それらの情報を画面に表示する。

【 0 1 4 3 】

また、決済コンピュータは、認証、決済を行うと、決済完了情報、取引情報、販売者情報、販売者付帯情報等を携帯端末に送信する。携帯端末は決済完了情報、取引情報、販売者情報、販売者付帯情報等を受信するとそれらを画面に表示する。従って、運転者等は料金所の通過について決済が完了したことを知ることができる。また、携帯端末は、取引情報、販売者情報、販売者付帯情報等を記憶してもよい。

【 0 1 4 4 】

料金所の係員は、料金所のコンピュータの画面に表示される情報に含まれる決済番号と、運転者等が携帯端末の画面から読んで係員に通知する決済番号との一致を確認したならば、決済完了を確認した旨の通知を運転者などにして、その通知を受けた運転者は料金所を出る。または、購買者付帯情報に車のナンバを含ませ、決済機関のコンピュータが料金所のコンピュータにそのナンバを送信し、料金所のコンピュータがそのナンバを表示し、係員が表示されたナンバと車に付されているナンバを照合しても良い。

【 0 1 4 5 】

〔東名高速道路（２）〕

携帯端末の電話番号や携帯端末の所有者の電子メールアドレス等の購買者識別情報は、予め携帯端末の所有者が携帯端末に記憶させておく。

【 0 1 4 6 】

入りロゲートに、入りロゲートを識別するための入りロゲート識別情報及び入りロゲートの名称等を示す入りロゲート付帯情報を所定の形態で出力する出力装置を設置しておく。なお、入りロゲート識別情報を入りロゲートの名称としても良い。入りロゲート識別情報及び入りロゲート付帯情報は基礎情報である。

【 0 1 4 7 】

料金所の手前に、販売者識別情報、販売者付帯情報、基礎情報を所定の形態で出力する出力装置を設置しておく。基礎情報には料金所を識別するための料金所識別情報も含ませる。また、販売者付帯情報は、道路公団の名称、料金所の名称等である。

【 0 1 4 8 】

入りロゲートの出力装置まで車がくると、運転者又は搭乗者は、出力装置から所定の形態で出力されている入りロゲート識別情報、入りロゲート付帯情報をその形態に対応した携帯端末に備えられた又は携帯端末と接続されたセンサ又は読込装置で携帯端末に読み取らせる。入りロゲート識別情報、入りロゲート付帯情報がバーコードで表されている場合には車を停止又は徐行させてバーコードリーダーで読み込ませるが、それらの情報が電波形態で表されている場合には、車を停止又は徐行させること無く受信機で受信して読み込むことができる。

【 0 1 4 9 】

次に、携帯端末は、入りロゲート識別情報、入りロゲート付帯情報を携帯端末の画面又は携帯端末に接続された表示装置の画面に表示する。次に、携帯端末は、入りロゲート識別情報、入りロゲート付帯情報、購買者識別情報を通行料金計算用コンピュータ（取引情報生成装置）に送信する。

【 0 1 5 0 】

料金所の手前に設けられた出力装置まで車が来ると、運転者又は搭乗者は、出力装置から所定の形態で出力されている販売者識別情報、販売者付帯情報、基礎情報をその形態に対応した携帯端末に備えられた又は携帯端末と接続されたセンサ又は読み込み装置で携帯端末に読み取らせる。販売者識別情報、販売者付帯情報、基礎情報がバーコードで表されている場合には車を停止又は徐行させてバーコードリーダーで読み込ませるが、それらの情報が電波形態で表されている場合には、車を停止又は徐行させること無く受信機で受信して読み込むことができる。

【 0 1 5 1 】

次に、携帯端末は、販売者識別情報、販売者付帯情報、基礎情報を携帯端末の画面又は携帯端末に接続された表示装置の画面に表示する。次に、携帯端末は、販売者識別情報、販売者付帯情報、購買者識別情報、基礎情報を通行料金計算用コンピュータに送信する。

【 0 1 5 2 】

次に、通行料金計算用コンピュータは、入りロゲートの出力装置を車が通過したときに受信した入りロゲート識別情報、購買者識別情報と、料金所の手前の出力装置を車が通過したときに受信した料金所識別情報、購買者識別情報を利用し

て、通行料金を計算し、携帯端末に通行料金、入りロゲートの名称、料金所の名称を示す取引情報、販売者識別情報、販売者付帯情報を携帯端末に返信する。

【 0 1 5 3 】

次に、携帯端末は、携帯端末に備えられた、又は携帯端末と接続された読込装置で認証情報を読み込む。認証情報を音声とするならば、読込装置は携帯端末のマイクであれば良い。認証情報が指紋情報であれば、携帯端末に備えられた指紋読込装置であっても良いし、ハンドル等に備えられた指紋読込装置であっても良い。

【 0 1 5 4 】

次に、携帯端末は、販売者識別情報、販売者付帯情報に含まれる道路公団の名称、取引情報に含まれる通行料金、入りロゲートの名称、料金所の名称等を携帯端末の画面又は携帯端末に接続された表示装置の画面に表示する。それを読んだ運転者は、料金所進入を決意したならば、決済承諾のためのキー操作を携帯端末のキー又はハンドル等などに備えられているボタンに対して行う。キー操作の代わりに承諾の旨の言葉の発声でも良い。次に、携帯端末は、販売者識別情報、販売者付帯情報、購買者識別情報、取引情報、認証情報等を決済コンピュータに送信する。なお、決済承諾のための手順を省略して、自動承諾としても良い。

【 0 1 5 5 】

決済コンピュータは、実施の形態で説明したように認証、決済を行うと、決済完了情報、取引情報、購買者情報、購買者付帯情報等を販売者識別情報中で示される料金所のコンピュータに送信する。決済完了情報には、決済コンピュータで生成された決済番号も含まれる。料金所のコンピュータは、決済完了情報、取引情報、購買者情報、購買者付帯情報等を受信すると、それらの情報を画面に表示する。

【 0 1 5 6 】

また、決済コンピュータは、認証、決済を行うと、決済完了情報、取引情報、販売者情報、販売者付帯情報等を携帯端末に送信する。携帯端末は決済完了情報、取引情報、販売者情報、販売者付帯情報等を受信するとそれらを画面に表示する。従って、運転者等は料金所の通過について決済が完了したことを知ることが

できる。また、携帯端末は、取引情報、販売者情報、販売者付帯情報等を記憶する。

【 0 1 5 7 】

料金所では、車の進入を検出したならば、料金所のコンピュータが受信した決済番号と、その車の運転者等が保有する決済番号との照合を行い、照合が失敗した場合には、通行料金の徴収、ナンバープレート、運転者等の写真撮影等を行う。

【 0 1 5 8 】

料金所での上記の方法は、係員が行っても良いし、装置が行っても良い。装置が行う場合には、車の進入は物体センサが行い、照合は料金所のコンピュータと携帯端末との間の近距離通信或いは基地局を介した通信により行う。

【 0 1 5 9 】

【発明の効果】

以上説明したように本発明によれば、以下の効果が奏される。

【 0 1 6 0 】

携帯端末を紛失したり盗難されたりしても、決済の際に購買者情報と認証情報とを照らし合わせるので、第三者が携帯端末を不正に使用することを防止できる。従って、現金決済やカード決済に比べて安全性が高い。

【 0 1 6 1 】

また、販売者情報、販売者付帯情報、取引情報を携帯端末に蓄積することができるので、購買者は携帯端末を利用するのみで自分の購買記録を確認したり集計したりすることができる。

【 0 1 6 2 】

更に、決済を購買者自身が携帯端末により行うので、決済を行うための者を取引所に配属する必要が無くなる。

【 0 1 6 3 】

更に、購買者が、実際に提供されている商品又は役務の内容と取引情報により示される商品又は役務の内容とを照らし合わせることができるので、現物確認をしないバーチャル取引に付随する危険性がない。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の実施形態による携帯端末の構成を示すブロック図である。

【図 2】

本発明の実施形態による決済コンピュータの構成を示すブロック図である。

【図 3】

本発明の実施形態による商品又は役務の取引における決済方法の動作を示す第 1 のフローチャートである。

【図 4】

本発明の実施形態による商品又は役務の取引における決済方法の動作を示す第 2 のフローチャートである。

【図 5】

本発明の実施形態による商品又は役務の取引における決済方法の動作を示す第 3 のフローチャートである。

【図 6】

本発明の実施形態による商品又は役務の取引における決済方法の動作を示す第 4 のフローチャートである。

【図 7】

本発明の実施形態による商品又は役務の取引における決済方法の動作を示す第 5 のフローチャートである。

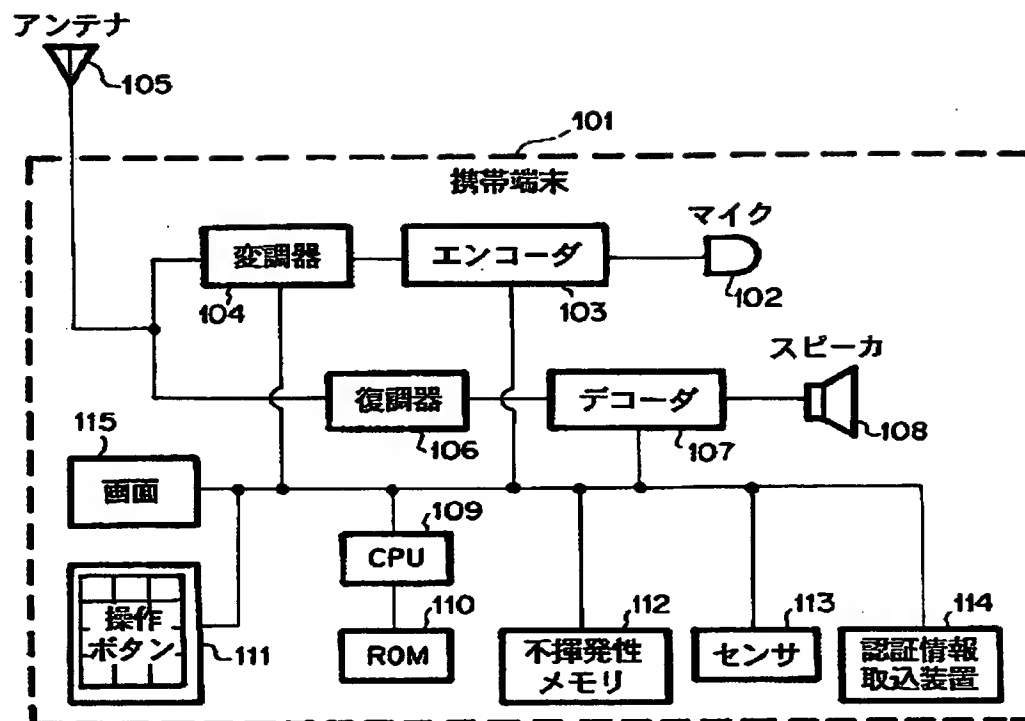
【符号の説明】

- 1 0 1 携帯端末
- 1 0 2 マイク
- 1 0 3 エンコーダ
- 1 0 4 変調器
- 1 0 5 アンテナ
- 1 0 6 復調器
- 1 0 7 デコーダ
- 1 0 8 スピーカ

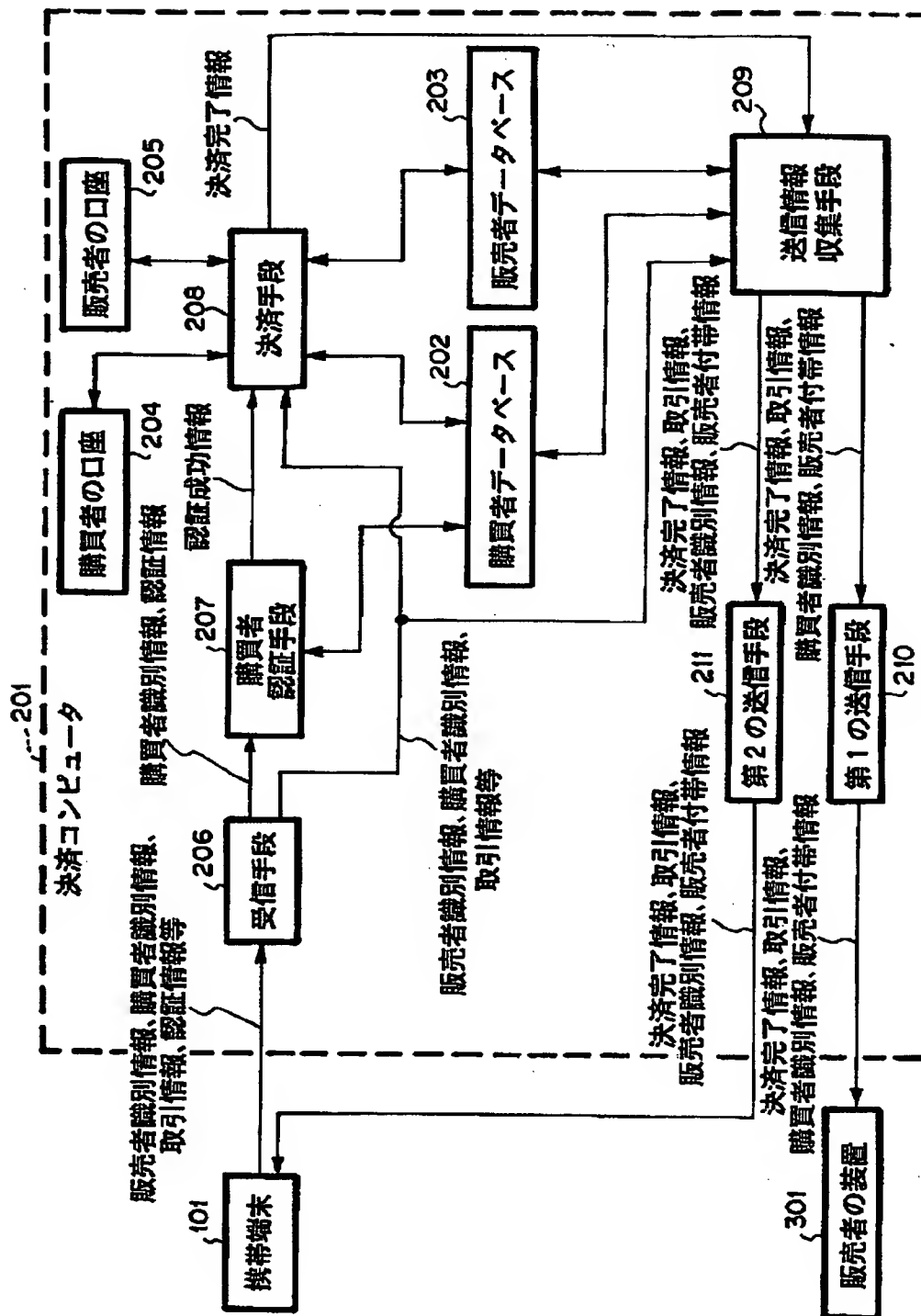
- 1 0 9 C P U
- 1 1 0 R O M
- 1 1 1 操作ボタン
- 1 1 2 不揮発性メモリ
- 1 1 3 センサ
- 1 1 4 認証情報読込装置
- 1 1 5 画面
- 2 0 1 決済コンピュータ
- 2 0 2 購買者データベース
- 2 0 3 販売者データベース
- 2 0 4 購買者口座
- 2 0 5 販売者口座
- 2 0 6 受信手段
- 2 0 7 購買者認証手段
- 2 0 8 決済手段
- 2 0 9 送信情報収集手段
- 2 1 0 第 1 の送信手段
- 2 1 1 第 2 の送信手段
- 3 0 1 販売者の装置

【書類名】 図面

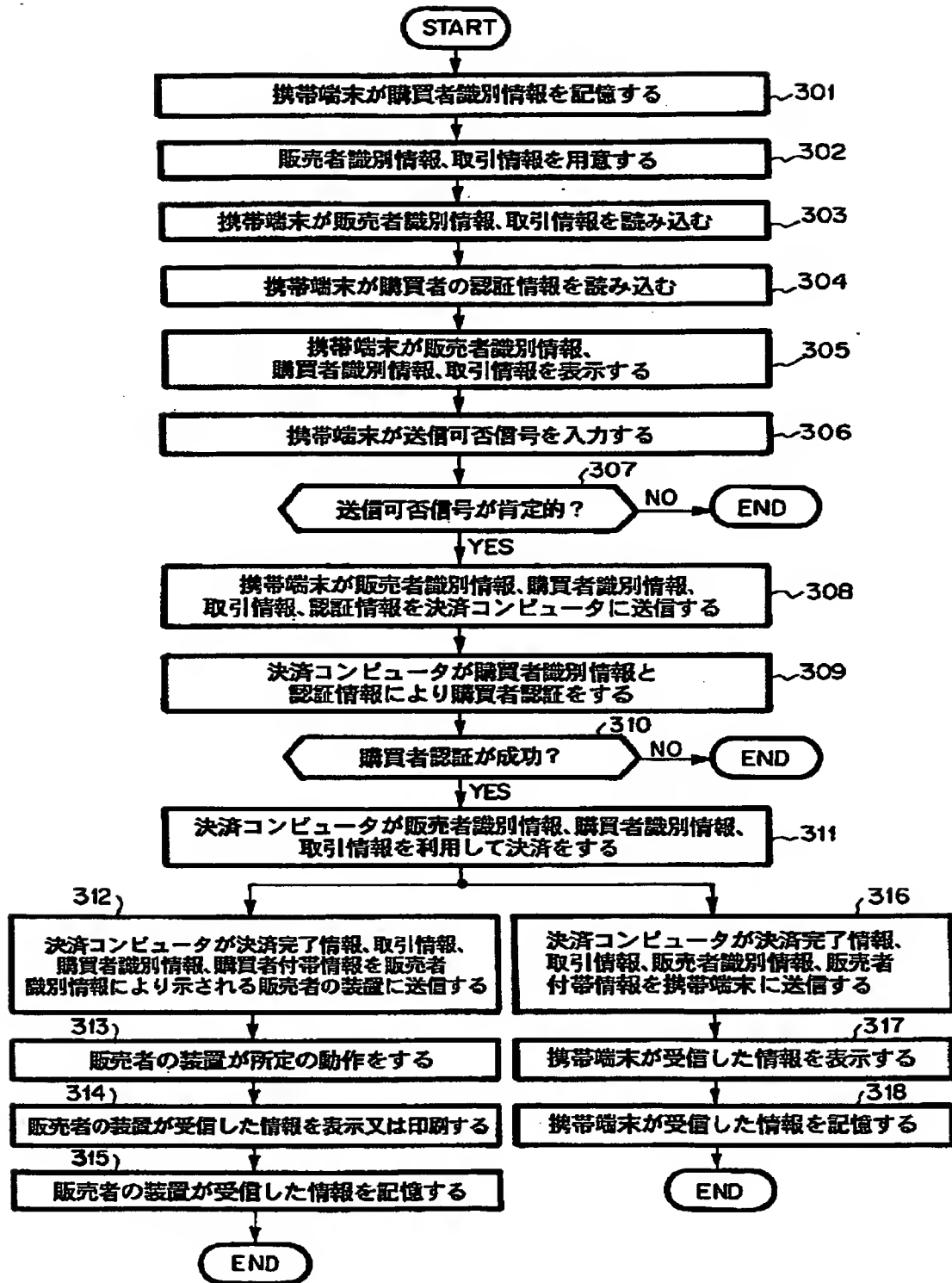
【図 1】



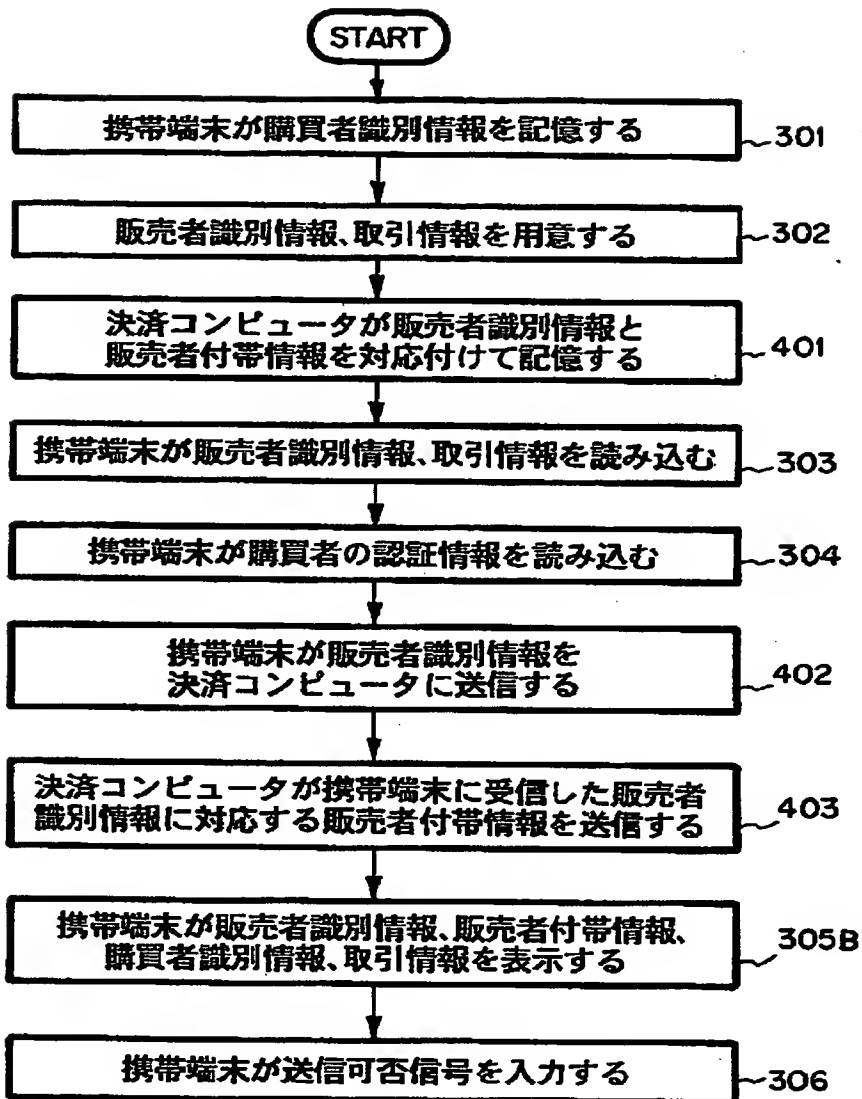
【図 2】



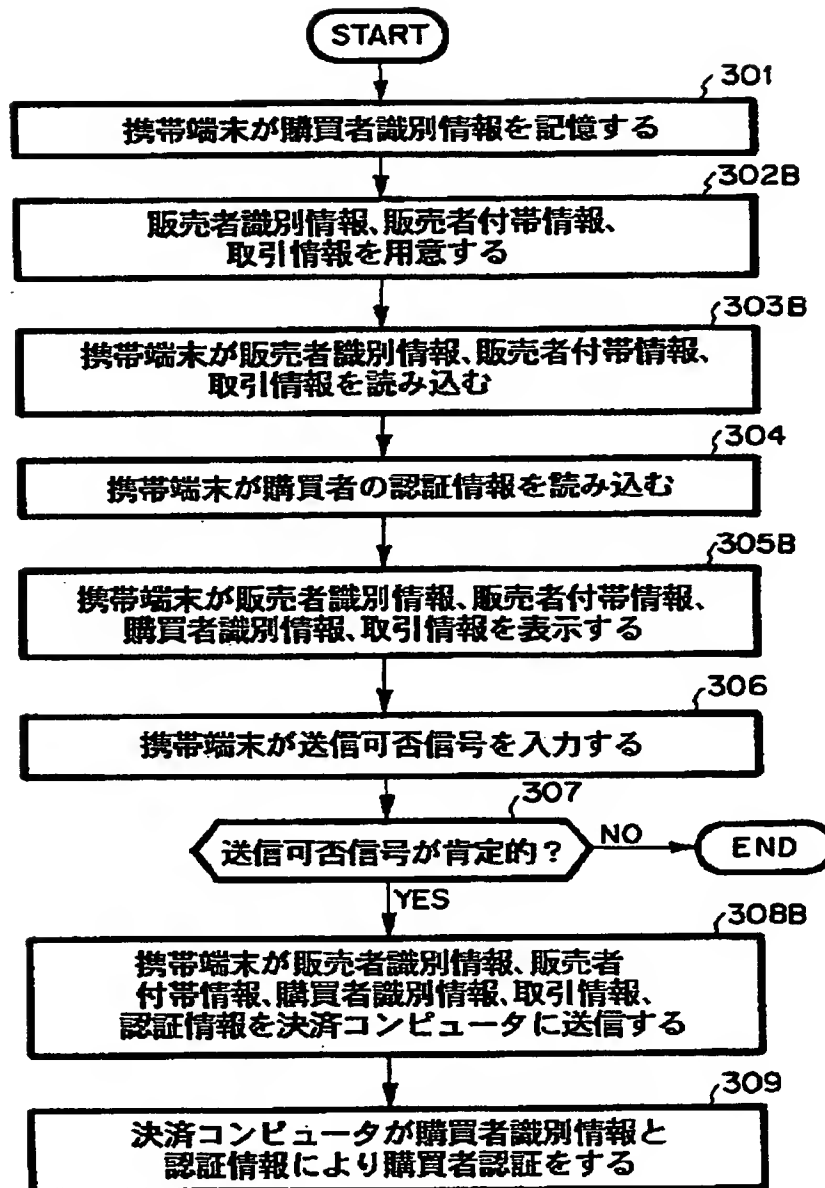
【図 3】



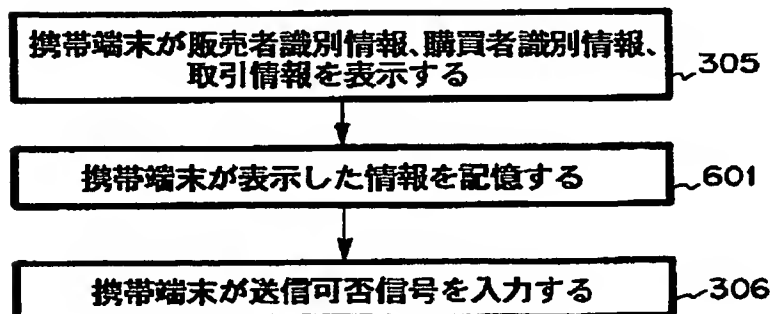
【図 4】



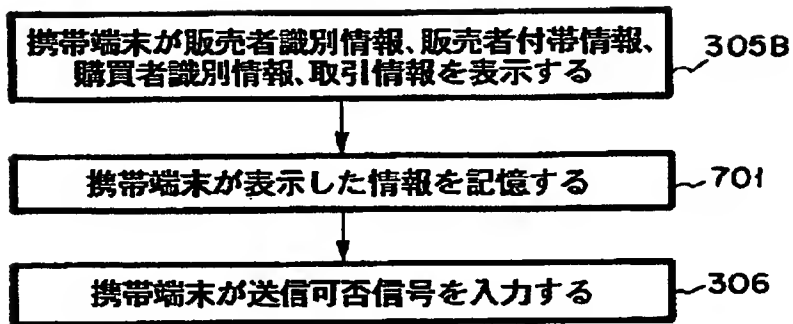
【図 5】



【図 6】



【図 7】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 現金、キャッシュカード等を持たなくても、携帯端末を持っていれば様々な取引局面でその決済ができるようにする。

【解決手段】 携帯端末は、販売者が提示する販売者識別情報、取引情報をセンサで読み込み、認証情報を認証情報読込装置で読み込むと、それらの情報と購買者情報を決済コンピュータに送信する。決済コンピュータは購買者情報と認証情報により認証を行い、認証が成功したならば、決済を行い、決済完了通知を携帯端末と販売者の装置に送信する。

【選択図】 図3

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000004237]

1. 変更年月日	1990年 8月29日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都港区芝五丁目7番1号
氏 名	日本電気株式会社